

小松の文化・産業発展の礎を築く――



▲加賀絹
古くからの小松の特産品であった絹織物。利常公の保護奨励によって一層盛んとなり、「当町随一之産業」と言われるほど江戸時代には小松の主要な産業となりました。

ものづくりの振興で
産業・商業の中心地へ

利常公の入城に伴い、多くの武士とともに職人や商人も小松に集まるようになります。古くからの特産品で、品質の統制などが行われた絹織物。城の整備に際して日末や蓮代寺で焼かせたことから始まったという瓦生産など、様々な産業の保護奨励を行ったことで、小松は南加賀における産業・商業の中心的なまちとして大きく発展しました。

特に、絹織物の商いで力をつけた商人たちは、小松の代表的な町人文化の曳山子供歌舞伎を始める原動力となりました。産業の保護育成に力を尽くした利常公が、のちに華開く町人文化の礎を築いたと言えます。



▶小松城瓦
前田家の家紋である「梅鉢」の紋様が施されているのが分かります。

ちょっと
一息



加賀茶のはじまり

「加賀はお茶どころ」と言われていますが、茶の生産にも利常公は大きく関わっています。山城（現在の京都府）・近江（現在の滋賀県）から茶の種を取り寄せた利常公は、小松の長谷部理右衛門に栽培を命じ、理右衛門は金平・瀬領で採れた茶を利常公に献上。これが加賀茶の始まりと伝わっています。利常公は大変喜び、金平産の茶には「金の薫」、瀬領産には「谷の音」という銘を付けたとのこと。



◀▲香り高く、多くの人に親しまれている「加賀棒茶」。明治期、加賀地域で生産されたお茶は大量に輸出され、地元に残りませんでした。そこで、仕方なく製造過程で取り除かれる茎の部分をほうじて飲んでみたところ、実においしかった。これが、加賀棒茶の誕生秘話です。

加賀前田家三代当主として活躍した利常公は、家督を長男の光高に譲り、寛永17（1640）年、幼少期を過ごした思い出の残る小松城に入城します。美術工芸や茶の湯に通じていた利常公は、全国から名のある文化人や名工を小松に招き、文化の振興に力を注ぎました。

茶の湯においては、千利休のひ孫にあたる仙叟宗室を迎えましたが、仙叟が武家のみならず町人にまで茶の湯を広めたことで、小松に茶道文化が広く浸透しました。さらに、利常公は茶器などを全国から集めるとともに、美術工芸品の生産を進めましたが、そのことが伝統工芸「九谷焼」にもつながったと言われています。

また神仏を敬い大切にし、戦乱で荒れ果てた那谷寺を再興しただけではない



▲芦城公園の中にある茶室「仙叟屋敷ならびに玄庵」で、今も多く市民の皆さんが茶道に親しんでいます。

く、小松天満宮を造営するなど、文化財として残る建造物を建てたことでも有名です。

利常公の入城以来、小松の文化はこうして大きく発展し、今につながっているのです。



▲能を愛し広めた利常公。「こまつ能楽教室」では、子供たちにその伝統が継承されています。



▶加賀藩を守るため、小松城と金沢城の鬼門の線上に造営された小松天満宮。



特集

市制80周年記念 利常公入城380年

小松が誇る貴重な文化遺産や伝統産業の礎を築き、小松発展の祖と言われる、加賀前田家三代・前田利常公。小松城に入城して380年という節目の年に、その功績をたどります。

特集に関する問い合わせ

観光文化課 24・8076

前田利常公銅像

同時開催

博物館

企画展

「写真が語る小松80年の記憶」

市制80年を記念した企画展。小松の懐かしい風景写真などを展示します。

会期 4月4日(土)～5月31日(日)



▲駅前にオープンした「こまビル」(昭和45年)

本陣記念美術館

企画展「美術館は春爛漫」

咲き誇る花々のモチーフや風景など、美術館が春の情景に包まれます。

会期 6月21日(日)まで



▲堂本印象「春光を背に」

市制80周年特別企画布花オブジェ展 「布花とクラシカルなひととき ～布花と和の融合～」

布花のアトリエ「Nana flower」による布花オブジェを展示します。

会期 6月21日(日)まで

宮本三郎美術館

特別展「至上の美を求めて ～大京コレクション～」



▲宮本三郎「裸婦半身像」

大京(二宮文化財団)が収集した美術品の中から、名品の数々を北陸初公開します。

会期 5月17日(日)まで

文化体験

利常公が振興した文化やものづくりを体験しましょう。

時間 10時30分～16時 ところ 市民ギャラリールフレ、公会堂

文化体験内容

- ①小松畳表 ミニ畳作り(参加費／500円)
- ②シルク染め(参加費／1,500円)
- ③加賀友禅 彩色体験(参加費／1,000円)
- ④着物着付け、撮影会(参加費／3,500円〈着物レンタル+着付け〉、1,000円〈着付けのみ〉)
持ち物 足袋、履物(レンタル可〈別料金〉)
- ⑤能楽ワークショップ(参加無料)

申し込み ①～③はもしもしセンター ☎20・0404

④は結いの会 神田 ☎090・1630・8955

⑤は当日受け付け

※いずれも先着順(人数には制限があります)



花の文化でおもてなし

小松の町人文化と産業の継承を表現した曳山華舞台や、「和」をイメージした花のオブジェなど、色鮮やかな花装飾で訪れる皆さんをもてなします。



市制80周年記念オープニングセレモニー

和の音楽や踊りで、市制80周年のスタートをお祝いします。

時間 9時30分～10時15分 ところ 前田利常公銅像前(芦城公園内)

オープニングセレモニーでは、笛・舞踊・三弦によるおめでたい「鶴亀三番叟」と、市制80周年を記念して新たに制作した民謡「小松おどり」を披露いただきます。



CRAFT FOOD MARKET 園遊 ～&YOU～

時間 10時～16時 ところ 芦城公園

緑茶や棒茶、台湾茶、ハーブティーなど、市内外から様々なお茶が一堂に会します。

茶文化の歴史が深い南加賀地域でも、これまでにない催しとなります。各店舗のお茶を飲み比べて、それぞれの個性ある味わいをお楽しみください。



Botanically(小松市)

▶お茶と一緒に楽しめる和菓子やランチのほか、お茶を使ったノンアルコールカクテル(ティーモクテル)などもあり、多彩な店舗が並びます。



※感染症が流行しているため、状況によってイベントが変更・中止になる場合があります。
最新情報は、市ホームページをご確認ください。



▶500円で自由に各店舗のお茶の飲み比べができます(オリジナル茶杯付き)。

茶舎 観寿(金沢市)

◀漢方茶をブレンドする体験などの各種ワークショップも開催します。



ARU(小松市)

◀茶器や九谷焼きの販売もあります。

九谷セラミック・ラボラトリー(小松市)

利常公園遊会

とき 4月19日(日)
ところ 芦城公園内

市制80周年記念事業のオープニングは、茶文化をテーマとした利常公園遊会。利常公の居城・小松城の三の丸跡に造られた芦城公園で、お茶を味わいながら楽しめる様々な企画を開催します。新緑が芽吹く園内で、利常公が築いた小松の文化を感じてみませんか。

市制80周年のはじまりだよー！

